

S H I Z U O K A

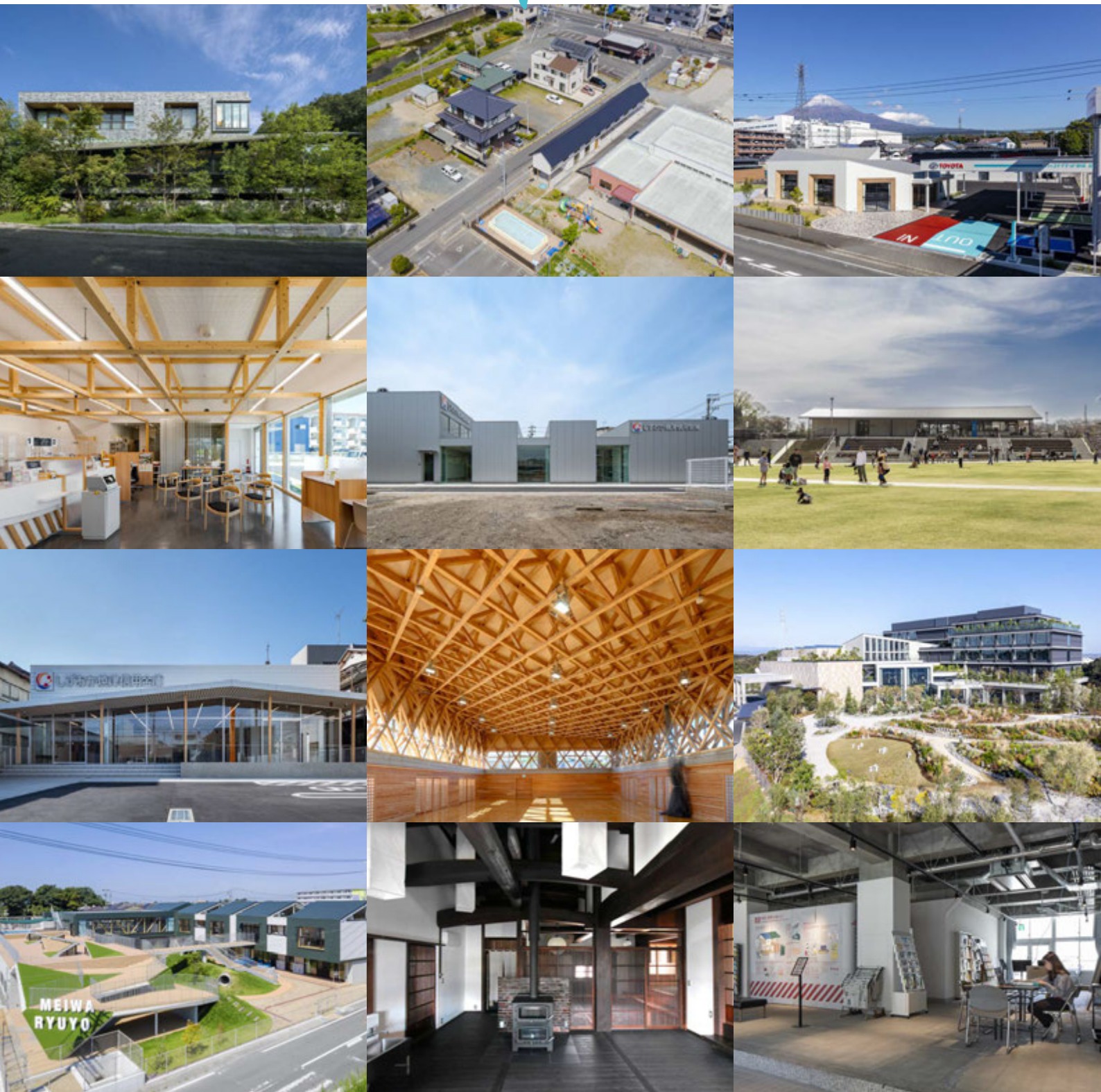
SHIJKYO

News

しずおか建築士事務所協会ニュース

2026.7
no.193

特集 Shizuoka Design Award 建築賞 2025



一般社団法人 静岡県建築士事務所協会
Shizuoka Association of Architectural Firms

完全WEB版になりました！

HPよりデジタルブックをご覧ください。
<https://www.shijikyo.or.jp/shijikyo/>





会長 鳥居久保

企業組合針谷建築事務所

この度、(一社)静岡県建築士事務所協会の2026年度定時総会において、任期満了に伴う役員改選で会長に選出された鳥居久保でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

当協会は今年で設立58年目を迎えます。我々、建築士事務所は建築の設計監理を通して良質な社会資本の形成に寄与する職能を本分として持ち合わせており、作られた建築や都市が地域の中でいかに生き続けていけるかが、将来に渡っての大きなテーマになっていると言えます。実はその職能の在り方を「建築士事務所憲章※」に見ることができます。これは建築士事務所のいわば憲法であり、5条から成るその内容とは、建築主の利益を守り、環境を維持し、倫理観をもって設計にあたり、工事を厳格に遂行し、社会と応答しながらモノを作る、と言う内容が記されています。

この憲章を基に、当協会に加盟しているそれぞれの建築士事務所は己のふるまいや業態を律しつつ、建築設計を通して社会への貢献と責任を果たして参りました。

しかしこの半世紀を超える時代の流れの中にあっては、建築士事務所が要求される建築の姿や在り方も多様化し変容して来ているのも又、事実であります。

経済成長期に量的需要を満たしてきた『拡大・成長型』の都市構造は今や大きく転換し、現在の人口減少社会の中ではすでに

蓄積された膨大な建築資産(ストック)をどう利用していくかに、我々の職能や創作の方向性はシフトしていると言えます。つまり建築士事務所は『縮小・再編型』へと移行している社会構造を受け止め、改修やリニューアル、コンバージョンやリノベーションへと建築設計としての対応を多様化させ、深化させていく時代を迎えているのです。

これまでの静岡県建築士事務所協会の実績としては、静岡県と連携しながら全国に先駆けて耐震化のための指針や評価制度の整備に取り組み、その実践の場として耐震診断や耐震評定の仕組みの構築があります。そしてその成果を県内の建築物に反映させることで高い耐震性能を有し、安全で安心な都市環境を実現してきたように、常に社会からの要請に対して技術者の立場から合理的で整合性のあるソリューションで応えてきた歴史があります。

今後は、災害が多発する日本列島にあって、県内の建物が被災した場合、速やかな復旧復興のためにも、災害時協定を県内の各自治体との間で結び、素早い対応と活動を支援していく所存であります。現在(2026年6月現在)、14自治体と災害時協定を締結しており今後も多くの自治体と協定を結ぶ事で、事前復興も含めて地域の安全やまちづくりにも寄与していきたいと思ひます。

そのほか、省エネ関連業務支援、各種講習会(BIM普及、ZEB、ZEH対応、法改正、中大規模木造等)の講習会を開催し会員サービスにも力を入れていきます。

最後に、静岡県建築士事務所協会が将来にわたって健全に発展できる環境を整えていくためにも、今後は次世代を担う若い世代や女性会員が主体となって会員同士が学び合える場を協会内に整備し、それぞれの立場を自由に表現し高め合う共通の場を創設していこうと思っております。

こうして、当協会は地域社会とともに歩み多世代が関わって、建築文化の向上と安全安心な社会基盤の形成のために努力していく所存でありますので、今後とも皆様のご理解とご協力、ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

※建築士事務所憲章とは…

各都道府県に存在する建築士事務所協会を支援・統括する役割を担うのが(一社)日本建築士事務所協会連合会であり、この連合会(日事連)が平成20年5月に制定した建築士事務所の行動規範を示した憲章を言ひます。

S H I Z U O K A
SHIJKYO

しずおか建築士事務所協会ニュース

News

2026.7
no.193

特集

02 新年度のご挨拶

04 新年度理事の紹介

09 任期を振り返って

10 令和8年度 定時総会

14 Shizuoka Design Award
建築賞2025

20 支部だより

23 お知らせ

24 編集後記



副会長 立道 浩幸

(株)蒼設計

担当役員／

総務・財務、広報・渉外、指導運営

副会長5年目となります、本年度もよろしくお願いいたします。昨年度まで、各種事業・理事会・担当委員会等、また日時連の委員会、全国大会等におきまして、副会長という立場で4年間携わらせていただきました。今まで以上に多くの会員の皆様と関わることが出来、副会長でなければ体験できない事も多々あり

ました。理解不足や不慣れな点も多く、ご迷惑をお掛け致しました。この場をお借りいたしましてお詫び申し上げます。

本年度は、より協会の為となるよう積極的に活動し、それぞれの委員会や各支部が昨年度以上に活発に活動し交流を深めあえる環境づくりをサポートして行きたいと考えます。参加しやすい協会、参加したくなる協会となれるよう、会員の満足度を上げるためにはどうすれば良いのか、会員が何を求めているのか、協会として何をしなければならないか、何ができるのか等、様々な活動を通して抽出し、会員のニーズにこたえられるような会としたいと思います。

新体制の元、精いっぱい務めさせていただきます。会員の皆様にはご協力・ご苦勞いただくこともあろうかと思いますが、何卒よろしくお願い申し上げます。



副会長 高橋 辰弥

(株)高橋茂弥建築設計事務所

担当役員／

教育・情報、業務、技術

令和8年度の定時総会にて、鳥居新会長のもとで副会長という大役を務めさせていただくことになりました高橋でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

現在、私たち設計事務所を取り巻く環境は大きく変化しております。世界情勢の不安定化に伴う原油価格や資材価格の高騰、物流停滞による建築資材の供給遅延、さらには人手不足や働き方改革への対応など、建築業界には多くの課題が山積

しております。

また、近年はChatGPTをはじめとする生成AIの急速な発展が大きな注目を集めています。建築設計分野においても、図面作成や法規チェックなどの業務効率化が期待される一方で、施主の思いを丁寧にくみ取り、最適な提案へと結び付ける対話力や、現場における判断力・調整力は、依然として人にしか担うことのできない重要な役割であると考えております。

これからの設計事務所には、変化を恐れるのではなく、AIをはじめとする新しい技術を積極的に活用しながら、そこで生み出された時間や価値を設計品質の向上や施主との信頼関係の構築に生かしていく姿勢が求められます。

新任により大変微力ではございますが、会員の皆様と力を合わせ、業界の発展と当会のさらなる活性化に努めてまいります。今後ともご指導、ご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



副会長 中尾 有希子

(株)渡辺建築設計事務所

担当役員／

建築文化、地域交流

この度、2026～2027年度の副会長を仰せつかりました中尾有希子と申します。

昨年度までは、常務理事(西部支部長)として事務所協会に携わらせていただいております。西部支部の皆様には、大変お世話になりました。今年度からは、今まで以上に多くの会員の皆様と交流を持ちたいと思っています。

私の担当する委員会が建築文化委員会と地域交流委員会で

すので、フォトコンテストや高校生によるコンペなど、会員以外の皆様とも関わりを持ち、事務所協会のことを広く知っていただく役割もございます。活動を通して将来の会員増強に繋いでいけたら良いと考えております。

また、地域交流委員会の中には青年委員会も含まれておりますので、活気のある若い建築士の活動のサポートも重要な役割の一つです。これからの事務所協会を支える方たちに安心して事業が出来るよう協力していくつもりです。

建築業界は、日々、情報が更新されております。講習会や研修会を主催するであろう立場として、私自身がアンテナを高くし、皆様のお役にたてるよう精進していく所存です。

今年度は、鳥居新会長のもと、新体制が始まったばかりです。至らぬところも多々あると思いますが、会員の皆様と一緒に成長していきたいと思っております。これからもご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。



株式会社 蒼 設 計

代表取締役 立 道 浩 幸

本 社 静岡県御殿場市茱萸沢1077番地
三島営業所 静岡県三島市萩720-12
U R L <http://www.kkaoi.jp>

TEL <0550> 89-8118 FAX <0550> 89-8778
TEL <055> 941-5911 FAX <055> 941-5916

専務理事 **萩野 泰用**

(一社)静岡県建築士
事務所協会事務局

現職に就いてから8年目を迎えました、専務理事 萩野です。
時代はコロナを乗り越え、中東情勢の影響など変動の時代を
迎え、将来展望を描くことが困難な状況にあります。そのような
中で、協会の業務としても少しずつ新しいことを取り入れていこ
うと考えながら業務に取り組んでいるところです。

昨年からは理事会資料の印刷を止め、メール配信による理事

会資料の配布を行っています。また、今年からは会員の皆様
方のご協力を得て、定時総会資料の電子化に取り組み、メー
ル配信とHPからのダウンロードの形式を執らせていただきま
した。少しずつですが、経費削減に繋がるものです。協会の黒字
化に取り組んでいます、なかなか思う通りにならないのが現
状ですが、小さなことからコツコツと進めていきますので、会員
の皆様方のご協力をお願いいたします。最後に、いつも気にか
けているフレーズを紹介します。

- ・長い目で見た人材育成、人を大切に扱う雇用の考え
 - ・厳しい言葉とパワーハラスメントの違い
 - ・60歳を超えても活躍できると思っているが、60歳を超えると給
料が半減する不条理
- 常に新しいことを見つけ、もう少し、頑張ってみようと思っている
今日この頃です。

新年度理事・監事の紹介



東部支部長

〈常務理事〉 **田代 陽介**

(株)池田建築設計事務所
(東部支部)



中部支部長

〈常務理事〉 **佐藤 信行**

(株)七丈設計
(中部支部)



西部支部長

〈常務理事〉 **弓場 千也**

(株)アーキプラン一級建築士事務所
(西部支部)



総務・財務委員長

〈理事〉 **清水 誠一**

(株)清水一級建築設計事務所
(中部支部)



広報・渉外委員長

〈理事〉 **脇坂 和洋**

脇坂設計一級建築士事務所
(中部支部)



指導運営委員長

〈理事〉 **三田 義洋**

(株)フォルム一級建築士事務所
(東部支部)

有限会社 ナップ建築設計室

〒431-0103 静岡県浜松市中央区雄踏二丁目24番30号
TEL053-596-5181 FAX596-5182
<http://www.nap-nap.co.jp>





建築文化委員長

〈理事〉 **野田 博文**

(株)一級建築士事務所室伏薫
デザインルーム(東部支部)



地域交流委員長

〈理事〉 **竹下 昌臣**

(株)竹下一級建築士事務所
(西部支部)



教育・情報委員長

〈理事〉 **深澤 博文**

エフ構造一級建築士事務所
(中部支部)



業務委員長

〈理事〉 **中村 拓哉**

(株)エコア総合設計
(西部支部)



技術委員長

〈理事〉 **植野 昌孝**

(株)植野建築設計事務所
(東部支部)



相談役

〈理事〉 **金丸 智昭**

(株)金丸建築設計事務所
(中部支部)



〈監事〉 **小沢 敏郎**

(一財)静岡県建築住宅
まちづくりセンター(外部)



〈監事〉 **石井 好治**

石井建築設計(株)
(東部支部)



〈監事〉 **藤原 龍美**

(株)ヴァイスプランニング
一級建築士設計事務所(西部支部)

セメント・生コン・上下水道資材・外壁・基礎工事・携帯電話販売



ヒヨコ株式会社

代表取締役社長 肥田 隆輔

本社
富士支店
掛川支店

静岡市葵区柚木570番地
富士市前田133番地
掛川市中3146番地

TEL (054) 265-2222(代)
TEL (0545) 64-0100
TEL (0537) 74-3919

浜松支店
名古屋支店

浜松市中央区石原町270-1
名古屋市中村区則武1-9-9
側島第二ノリタケビル2F21号室

TEL (053) 426-5060
TEL (052) 459-1360

令和8・9年度 役員・委員会組織表 (令和8年6月30日)



株式会社 松尾鉄工所

代表取締役社長 松尾卓明

〒421-0106 静岡市駿河区北丸子1丁目6番50号
TEL (054) 259-6564 FAX (054) 259-8026



防水 で 安全と安心を 次のステージへ。

Water Proof Shutter

防水シャッター



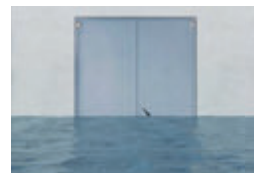
- 浸水高さ3mまで対応
- 管理用シャッターとしても利用可能
- 防火・防煙タイプもラインアップ (マルチハザード対応)



防火・防煙タイプは「防災防疫製品大賞©2021」※最優秀賞(新製品開発・セット部門)を受賞
※防災安全協会主催

W Tight Door

W タイトドア



- 浸水高さ3mまで対応
- 防水性と気密・水密性を備えた二重構造
- 津波荷重にも耐える高強度を実現

Million Guard

ミリオンガード



- 浸水高さ490mmまで対応
- 簡単取り付けで工事が不要
- 防水板を取り付けたまま自動ドアの開閉が可能

S Tight Door

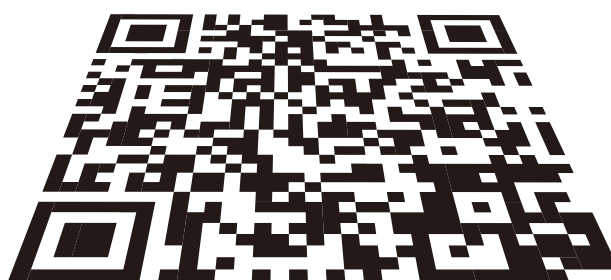
S タイトドア



- 浸水高さ2mまで対応 (スチール仕様は3mまで対応可能)
- 防水性と防火性を両立
- ドアを閉めるだけで防水性能を発揮

WATER GUARD

—— 三和の防水商品 ——



防水商品について、詳しくは上記を読み取ってご確認ください。

近年、日本各地で記録的な大雨による浸水や冠水被害が相次いでいます。

いつ起こってもおかしくない都市型水害から社会や建物を守るには普段からの備えが重要です。

三和シャッターでは、地上はもちろん地下空間まで多彩な防水商品をラインアップ。

都市や街の安全と安心を守る私たちの技術は、次のステージへとさらに進化を続けています。

三和グループ

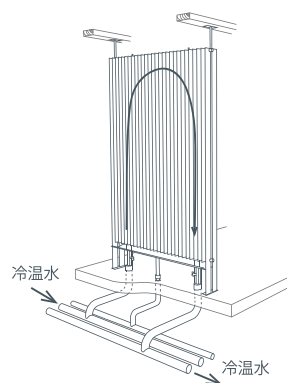
三和シャッター工業株式会社

静岡市場開発課 静岡 054-262-0111 沼津 055-923-2522 浜松 053-422-7500

地域の水資源を 空間に溶け込む 快適へ

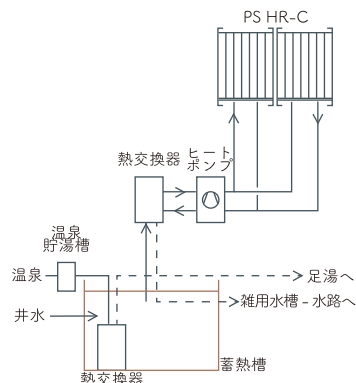
下田市新庁舎 の除湿型放射冷暖房 PS HR-C

1. 快適さをつくる



露出型の放射ラジエータなので、外気流入の多い場所でも積極的に利用できます。「放射」と「自然対流」で心地よい涼しさを。

2. 環境資源の活用



下田市の豊富な水資源を活用し、環境に負荷の少ないシステムを構築しています。

3. 空間に馴染む



特注で銅色塗装に。カスタムオーダーで空間の邪魔をしない意匠性。



温度と湿度の専門メーカー
ピーエス工業株式会社

〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷 1-1-3
T: 03-3485-8189 / M: info@psk.co.jp

下田市新庁舎 | 2026年3月竣工

建築設計: 末光弘和+末光陽子+穴戸優太 / SUEP.

設備設計: 有限会社 ZO 設計室

建築工事: 株式会社河津建設

機械設備工事: ヤマト設備工業株式会社 / サエツ冷機工業株式会社

静岡県内の
事例配布中



任期を振り返って



前会長
金丸 智昭

このたび、一般社団法人静岡県建築士事務所協会の会長を退任するにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

会長就任以来4年間、多くの皆様に支えられながら協会運営に携わることができましたことに、心より感謝申し上げます。任期中は、建築士事務所の社会的責任と将来性を見据え、「災害対応力の強化」「BIMの推進」「若手育成」「行政との連携強化」を重点課題として取り組んでまいりました。特に県や自治体との災害協定の締結・充実を進めることで、大規模災害発生時に迅速な被災建築物調査や復旧支援が行える体制づくりに努めてまいりました。一方建築分野のDXが進む中、BIMの普及促進にも力を注ぎました。BIM確認申請への対応や普及にむけた講習会や情報提供を通じ、会員の皆様が新たな時代に対応できる環境整備を進めてまいりました。そして行政との意見交換を重ねながら、地域の建築設計事務所として設計を取り巻く環境整備への要望活動も行っていました。これらはまさに、会員の皆様や理事の皆様、そして建築行政に携わる方々のご理解とご協力があった進められたことだと改めて感謝申し上げます。会長退任後は、(一社)日本建築士事務所協会連合会の常任理事として、協会の発展に微力ながら貢献してまいります。最後に会員の皆様のさらなるご協力と、これからの協会の飛躍を祈念いたしまして、退任の挨拶といたします。ありがとうございました。



前副会長
藤原 龍美

このたび、静岡県建築士事務所協会副会長を2期4年間務めさせていただき、今年度より監事を拝命することとなりました。

副会長在任中は、金丸会長をはじめ、理事、委員の皆さまの御支援ご協力を頂きながら、教育情報委員会、業務委員会、技術委員会を担当し、建築士更新講習や省エネ講習、中規模木造建築に関する研修など多くの貴重な経験を重ねることができました。また、理事の皆さまとともに、より良い建築士事務所協会の実現を目指して、活動できたこと大変光栄に感じております。

これからの建築設計業界はAI技術の進展により、大きな変革の時代を迎えると考えております。そのような時代だからこそ、私たち建築士には専門性と創造性を持って、社会からの信頼が一層求められるものと思います。

今後は監事として徹しながら協会に努めてまいりますので、引き続きよろしくお願いいたします。



株式
会社

稲葉商店

■セメント・生コン建材部 / 静岡市葵区長沼971-1

Tel <054> 262-2261 Fax <054> 262-2331

100年の歴史と先進のテクノロジー。

いま、さらなる未来へ。

◇ 販 売

セメント・生コンクリート

建築・土木資材

◇ 工 事

杭・地盤補強工事

屋根・外装工事・各種リフォーム工事



令和8年度定時総会が、去る6月4日(木)に静岡市の「ホテルアソシア静岡3階 駿府Ⅱの間」において開催されました。例年同様、会場はほぼ満席となり、盛大に開催することができました。

総会の定足数につきましては、出席の正会員71事務所、書面表決180事務所の合計251事務所が出席とみなされ、過半数を充足したため総会が成立し、審議に入りました。鳥居議長の進行のもと議事が進められ、すべての議案が原案どおり可決・成立しましたことを会員の皆様にご報告申し上げます。

議事終了後、令和7年4月から令和8年4月までに入会された正会員5事務所、協力会員12社を紹介させていただきました。また、今回も継続して取り組まれている「会員拡大の協力」(令和4年度より実施)につきまして金丸会長より報告があり、代表して中部支部の株式会社塚本設計の塚本様が表彰されました。

休憩を挟み、第2部では、新理事の互選により選出された新会長の鳥居久保氏をはじめ、16名の理事、3名の監査役が報告・紹介されました。続いて、今回で理事および監査役を退任される5名に新鳥居会長より感謝状が授与され、お一人ずつご挨拶をいただきました。

その後、来賓をお迎えし、ご来賓の中から静岡県くらし環境部長の杉本昌一様をはじめ、静岡市都市局建築統括監兼建築部長の浅場俊之様、一般社団法人静岡県建築住宅ま

ちづくりセンター上部理事の青野直己様よりご祝辞を頂戴しました。また、衆議院議員の上川陽子様、井林辰徳様、深澤陽一様よりお祝いのメッセージを頂き、それぞれの秘書の方々から、皆様にご紹介させていただきました。さらに静岡県危機管理くらし環境委員会委員長小沼秀朗様からのお祝いのメッセージを、司会者である清水誠一新総務財務委員長より代読・紹介させていただきました。

定時総会後には佐藤常務理事の司会のもと懇親会が盛大に開催されました。その中では、東部・中部・西部の各協力会の会長から挨拶をいただきました。ご参加いただいた皆様が、とても美味しい食事をいただきながら情報交換や交流を深められる大変有意義な会となり、田代常務理事の締めの挨拶により無事お開きとなりました。

最後に私事ではございますが、今回をもちまして理事を退任しました。3期6年間の任期中、教育情報や地域交流、総務財務委員と様々な経験をさせていただきました。会員の皆様には多大なるご協力をいただき、誠にありがとうございました。今後は一会員の立場に戻りますが、西部支部を中心に、引き続き建築業界のお役に立てるよう努めたいと存じます。

今後とも会員の皆様には、静岡県建築士事務所協会の運営につきまして、益々のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

前 総務・財務委員長 中村 裕之



地業工事一式

SGM株式会社

〒420-0929

静岡県浜松市中央区中央三丁目9番3号 UNビル4F

TEL 053-482-8255 FAX 053-482-8266

URL <http://sgm-group.jp>

■静岡支店

〒420-0837 静岡市葵区日出町10-15 SOZOSYA日出町ビル3C
TEL 054-295-5700 FAX 054-295-5701

■三島支店

〒411-0943 駿東郡長泉町下土狩30-1 山光ビルB棟504号室
TEL 055-943-7900 FAX 055-943-7901

■名古屋支店

〒460-0002 名古屋市中区丸の内三丁目4番30号 ケイト丸の内ビル8F
TEL 052-325-8777 FAX 052-325-8778



金丸前会長 挨拶



鳥居新会長 挨拶



杭工事・地盤改良工事 外構工事 外壁工事 タイル工事などの各種工事 資材販売



株式会社 野村商店

静岡県伊東市和田1-9-16

<https://nomuragroup.com/>

☎0557-35-5010

📷📺📱@nomura_u35



本社・経営本部
伊東営業所
伊豆南営業所
熱海営業所
トータルリフォームセクション

伊豆中央営業所
御殿場営業所
静岡営業所
浜松営業所
東京営業所

定時総会の様子



《建具工事・ガラス工事》



ワイ・エス販売株式会社

代表取締役社長 宮岡直行

本社／静岡県静岡市葵区長沼2丁目14番34号
T E L 054-262-6291 F A X 054-262-6289
支店・営業所／東京・神奈川・静岡東部



【公式ホームページ】

懇親会の様子



懇親会恒例の集合写真

＝豊かな経験・最新の技術＝

電気工事・通信工事・F A工事・メンテナンス・太陽光発電システム



株式会社 シズデン

代表取締役 増田 洋 健

本社／静岡市駿河区曲金 5-17-5 TEL 〈054〉 284-4111 FAX 〈054〉 284-6753

支店／東京・神奈川・東部・中部・西部

Shizuoka Design Award



BIOCHAR

(株)アート総合設計
鈴木亜生



講評

佐鳴湖に近接した新築住宅の計画。佐鳴湖には水質浄化施設などがあり、汚れてしまった湖の水を綺麗にしようと佐鳴湖地域協議会を発足させ、市民も環境保全活動をしている状況の中で、そのような状況をリサーチし、新築の住宅を計画することの中で可能となる環境に対する検討、スタディのエネルギーのかけ方が素晴らしいと感じた。資源の活用として、地域の廃材となる三ヶ日みかんの木をバイオ炭とし、建築の内外の素材として開発し利用する試みは、産業の活性化にも繋がる。敷地内の雨水の浸透性を考慮した建築の床を浮かした断面計画や外構の素材の選択についても、常に地球環境を守ることを主軸とした設計者の理念が伝わる活動である。



トヨタユナイテッド静岡 富士宮店

(株)竹下一級建築士事務所
平野正典、平野健、本田真木



講評

静岡県を代表する山である富士山をイメージし、建築のボリュームの検討や、周辺環境の高低差を内外の空間として活かし、インテリアの素材や色の使い方についても、一貫性があり、訪れた人々が楽しい気持ちになる空間性が創出されていることは、素晴らしい環境づくりである。また、建築だけではなく、窓から見える風景をランドスケープとして、植栽を配置していることや、受付カウンターに地元富士産材の檜を使用し、受付背面の壁には火山由来のシラスやリサイクル素材を含み調湿効果のあるサステナブルな大判内装材を貼るなど、カーディーラーという画一的な枠組みにとどまらず、地域や周辺環境から建築のあり方を読み解く姿勢が大変素晴らしい。



長床の学童

(株)竹下一級建築士事務所
児玉卓哉



講評

卒園した子どもたちが帰ってこられる居場所を作りたいという保育園の方の思いが形となった建築である。子どもたちのスケールにあった2間の間口と19間の奥行の敷地の長さを活かした建築のボリュームが浮いていることで、街に対しても周辺の住宅との連続性やピロティとしての見通しの良さから、街に対して良好な環境を生み出している。木造の架構が内外に現され、空間を豊かにしている素晴らしい計画である。長く続く空間が、子どもたちの活動の多様性を引き出し、大人たちが優しく見守ることができる場となっていることが、現地審査での子どもたちの活動から深く理解することができた。



しずおか焼津信用金庫 羽鳥支店 美和出張所

企業組合針谷建築事務所 宇佐美元気



講評

銀行という機能が重視される画一的な建築タイプがある中で、この建築は地元のオクシズ材を使い、地元の製材業、大工の手によりつくられた。地産地消の建築として素晴らしい試みである。105角の材を柱や梁として使うという一貫した計画と、1820mmの連続したフレームが日本の住宅や神社のスケール感とつながる心地よい空間を生み出している。周辺環境は住宅地で前面道路は片道1車線と広くない。歩道では小学生の通学路となっているのか、内部の大きな開口から元氣よく歩く姿が見えた。地域の銀行として気軽に相談できる空間性が現れている大変素晴らしい場づくりである。

しずおかの木
ぬくもり賞

建築賞2025

各受賞施設の施設名をクリックすると、
作品説明書がご覧いただけます。

入賞

一般部門 A

しずおか焼津信用金庫 竜南支店

企業組合針谷建築事務所 宇佐美元気



講評

銀行という機能が重視される画一的な建築タイプがある中で、この建築は鉄骨造とし、人が滞在するロビーの空間性を高めるため3箇所の天井高さを変えることで、ハイスайдライトによる光の変化が生まれている魅力的な空間を創出している。また、このボリュームのリズムは周辺環境の住宅のスケール感とつながり、北側の接道する道に対して高さを抑えた空間から光を届けている。ボリュームと平面的なプランニングがリンクし、できるだけシンプルな空間性を意識しつつ、人が滞在する場には豊かな光で満たす、素晴らしい環境づくりである。

入賞

一般部門 A

しずおか焼津信用金庫 西脇支店

企業組合針谷建築事務所
宇佐美元気、長島秀太



講評

銀行という機能が重視される画一的な建築タイプがある中で、この建築は木造の架構とし、地元のオクシズ材を用いることで、地域産業や脱炭素化の観点から環境的にも貢献している。西脇支店の周辺は住宅地であり、木造の切妻屋根の建築も多く存在する。そのような文脈の中で、周辺の環境と連続するように切妻屋根を建築の重要な要素として計画した優れた計画である。人々を迎え入れる外部の下屋となる軒下から内部へと連続性を持たせるために、無柱空間を成立させるトラス構造をあらわし、その上で檜の24mm角材を天井に施している。檜24mm角材は構造材ではなく造作材である。見せ方として、構造美を美しく見せる方法もあるが、この建築では造作材を重ねることで木質空間の温かさを表現している。トラス構造というダイナミックさと、ルーバーによる繊細さを併せ持つ空間として、とても興味深い試みである。

入賞

一般部門 A

鮎壺公園交流施設 鮎壺テラス

(株)池田建築設計事務所 三島事務所
和田康一、田中健蔵



講評

周辺の素晴らしい環境を活かした軒の深い大屋根をもつ、ワンルームの交流拠点である。黄瀬川、鮎壺の滝、溶岩広場、子供広場、芝生広場、キッチンカーエリアなどの豊かなランドスケープを受け入れるような、シンプルな平面・断面構成と軒の深い大屋根が、とても気持ちの良い空間を創り出している。平面的に前面道路へとつながるキッチンカーエリアに向けて間口を大きくした変化のある形状が、多目的スペース、ミーティングスペース、キッズテラス、屋外テラスを内包するワンルーム空間に広がりを与え、心地よい場を創出している。建物にぐるりとある縁側は、裏側をつくらない計画だからこそ実現できており、設備置き場もできるだけコンパクトに建物内に集約されている、大変優れた計画である。

入賞

一般部門 A

磐田学園 機能訓練棟

(株)竹下一級建築士事務所
石田賀之



講評

特別支援学校の機能訓練棟として、木造+鉄筋コンクリート造とし、屋根、梁、壁を県流通材120角で実現している。流通材をトラスの組み方によって、大空間を実現した試みは、今後の静岡市における大規模建築を考える上でも重要である。持続可能な資源の循環や産業の活性化の観点からも、地域に貢献している素晴らしい計画である。今回の先進的な試みを含め、県流通材で可能なトラスの組み方や空間性は今後も発展していくであろう。このような木の温かみのある空間があることで、特別支援学校の生徒、保護者、教員にとって心安らぐ場となることを期待している。



GREENITY IWATA

(株)竹下一級建築士事務所

竹下昌臣、大手寛、平野正典、杉山拓哉、
本田真木、石田賀之、谷野守右



講評

ガーデンを大切にしたいという主軸があったことで、ランドスケープや空間構成、素材選定が多様にミックスされた心地よい空間性が創出された、素晴らしい建築である。グランドホテルを地域のコミュニティスペースとして開放するという理念も非常に良いと感じた。ランドスケープや水盤、温泉など周辺環境を活かしながら、人々が過ごす場を丁寧につくっている。現地審査においても平面・断面の構成が優れており、訪れた人々に居心地の良い空間を提供する計画となっている。基本的にはボリュームをL型にした構成であるが、ガーデンを意識して南側へと拡張しており、この部分をラウンジ＝地域のコミュニティスペースと位置付けている。階高が8mの大開口によるガーデンとの連続性や、気軽に楽しむことができるレストランへと繋がる素晴らしい計画である。



和田のすずき家

(有)大石設計室一級建築士事務所
大石智



講評

約築130年となる民家の改修計画。既存の持つ素晴らしい空間性を調査、分析し、活かしながら現代の暮らしに合わせて、少しずつ手を加えている丁寧な設計が空間の魅力を向上させていると感じた。現地調査を行ったのはとても寒い2月で、民家の内部は天井を一部解体し、庭からの光が入る、野物の梁がダイナミックに現れる開放的な空間だったが、温熱環境として暖かくとても快適であった。その理由は、床下の断熱・気密性を高め、エアコンで暖かい空気を流し、空間を床暖房空間として活用したことにある。かまどを新ストーブに更新し、かまどの耐火レンガは、東屋のBBOコンロになり、かまどを仕上げていた化粧レンガは、薪ストーブの遮熱壁として使われている。東屋には使われていなかった井戸を復旧している。改修したキッチンが子供達の料理教室としても使われる。民家を持続可能なものにしていく素晴らしい試みである。



めいわ竜洋保育園

(株)竹下一級建築士事務所
大手寛、神津暲



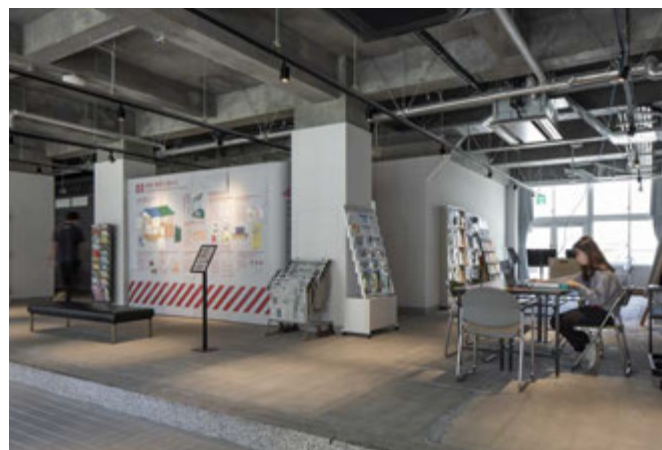
講評

周辺は住宅や幼稚園、畑などが広がる良好な環境である。保育園の配置・断面計画として、周辺住宅のボリュームを意識し、上下階でボリュームをずらしている。その結果、一階の園庭へ広がるピロティ空間や、隣家への配慮から生まれたボイド空間が、それぞれの保育室にも良好な環境をもたらしている。全体としてはコの字型のボリュームとしつつ、一部南側を平屋とすることで、園庭に光や風を取り込み、屋上を回遊できるテラスとして子どもたちが活動的に遊べる場を創出している。また、玄関が吹抜けの遊戯室と一体となった構成も、保育園の理念が伝わる空間として素晴らしい。保育方針として、「はしる・わたる・ねころぶ・たたずむ・すべる」といった多様な活動を大切にしており、現地審査においても子どもたちが楽しそうに活動している様子が見られ、大変素晴らしい環境である。



下田市庁舎移転計画

(株)池田建築設計事務所 三島事務所
和田康一、田中建藏



講評

中学校の統廃合によって、廃校となった建築を下田市庁舎としてコンバージョンした計画。改修計画で大切なことは、何を保存し、何を新しくするのだが、このバランスがとても良いと感じた。具体的には、断面構成として1階を地域開放フロアとし、2、3階は窓口フロア、4階は議会フロアと明確化したことである。また、1階はまちのホールとして、天井を撤去し、構造体を現しとすることで、開放的な空間となる。建具や家具、床材についても保存、活用しているものが1階から4階まで各所にあり、中学校の記憶と現在の庁舎としての活動が重なり、空間に新築では不可能な魅力を与えている。全体の方針として、庁舎としての重厚さではなく、気軽に立ち寄ることができる空間性を現地で感じる事ができた。今後の新築棟や旧庁舎の場の展開についても期待できる素晴らしい試みである。

入選
一般部門A

うみてらすDORI

企業組合針谷建築事務所 杉山春輝



講評

袋井市の同笠海岸（どうりがいがん）周辺における海のにぎわい創出プロジェクトの拠点の一つとなる建築。大屋根をキャンチレバーとして張り出し、木造の架構によって豊かな軒下空間を創出している。トップライトの取り入れ方も素晴らしい。それぞれの内部空間からトラス架構が見えることで、空間に広がり生まれている。大屋根は素材感や尺貫法のスケール感を大切に設計であることが伝わる一方で、その屋根を支えるコンクリート壁のあり方については、ここで行われる広場のイベントによって見え方が変化する可能性がある。今後の展開として、周辺環境の海への繋がりをランドスケープ、吊り金具を使用したアクティビティの検討などを期待している。

入選
一般部門A

（仮称）新陶芸センター・道の駅

（株）高橋茂弥建築設計事務所 大橋康孝



講評

藤枝市瀬戸谷地区の既存の温泉施設を残しながら、その建築の軒下空間や既存売店の建ち方を分析し、新築棟に活かす試みが素晴らしい環境づくりである。既存の温泉施設は多くの方に愛されている魅力的な空間であり、この空間を尊重しながら、新築棟の要素を加え、魅力を拡張しようとする意識が計画からも伝わる。新陶芸センターと既存温泉施設、バス停、道の駅をつなぐ回廊は、訪れた方の陶芸作品を展示する場として計画され、歩く楽しさを創出している。周辺には美しい山々が連なり、瀬戸川が流れている。今後は、この瀬戸川を活かしたさらなる展開にも期待したい。

入選
改修・増築部門

神明町の社屋

（株）竹下一級建築士事務所 児玉卓哉、本田真木、白井雅人



講評

執務機能の新築部をコンパクトに配置しながら既存の民家を活かし、柱を一部現しとし、天井を撤去し小屋組が空間に現れる改修計画としたことは、現地での既存建築調査に時間をかけ、全体の配置計画や既存を保存・改修する姿勢としてとても素晴らしい計画である。また庭が敷地の中心にあり、新築棟の階高を抑えることで庭全体が明るくなり、歩道からもその庭が見えることで、地域に対して良好な景観を与えている。庭と執務室の空間的な繋がりについては、新築棟と既存改修棟の間に庭があるので、新築棟の内部から庭との関係がより深まるような開口部のあり方があるとより一層、庭との連続性のある空間が期待できる。

入選
改修・増築部門

どんつき

（株）tot一級建築士事務所 中根健一



講評

約築100年となる空き家の改修計画。コストバランスを考慮し、既存をできるだけ残すという全体方針が素晴らしい。また、エントランスにウッドデッキを設け、内側の空間が外に拡張する新しい要素を入れている空間性がとても良く、2F天井を解体し小屋梁が空間に現れ開放的で魅力的な空間となっている。庭に配されていた大谷石を転用したカウンターがあることで、物語性が生まれる。今後のコミュニティスペースとしての使われ方の中で、既存空間に新しいものを差し入れながら更新していくことで、豊かさや魅力がより増大していくことを期待している。

総 評

〔審査委員長〕 岩月 美穂

(建築家/studio velocity一級建築士事務所共同主宰/名古屋造形大学特任准教授)

第3回Shizuoka Design Award建築賞2025の審査委員長を弓場地域交流委員長からご依頼を受け、お引き受けいたしました。この度は、とても貴重な機会を頂きありがとうございます。応募頂きました建築作品は設計者のみなさまがクライアントの思いと向き合いながら、多くの困難を乗り越えて完成した建築として街に彩りを与えているものです。

1次審査ではその中でも、実際にどのように人々の暮らしと共に存在しているのかを体験したい建築を選びました。具体的には、日本の風景として、密集した中心市街地だけでなく、郊外の風景として、①素材を活かしたもの、特に県産材を積極的に活用した静岡の産業としても活性化していくような木造建築をどのような架構で、どのような機能として暮らしの中に生きついているのかという視点、②内外の拡張性のあるもの、建築を内部のみで完結させることは限界があると考えており、建築を考える時に、ランドスケープと一体となる、街とつながるアクティビティを創出している視点、③物価高で建築資材が高騰する中で、古いものを撤去して新しいもののみで完結させるのではなく、既存の価値を調査・分析し活かす、そして新しいものを差し入れる視点、応募要項の審査基準と併せて、大きくこの3つの視点を大切に1次審査を行い、2次審査作品を選定しました。1次審査では、住宅部門3作品中1作品、一般部門A(1000㎡未満)15作品中9作品、一般部門B(1000㎡以上)6作品中2作品、改修・増築部門5作品中4作品の合計16作品を2次審査対象作品として選出しました。

2次審査では、建築家の方々の説明と共に、実際に街の中で人々の生きた建築として存在している姿を体験することができ、大変勉強になりました。1次審査で選定した作品はどれも入選以上で、入賞となったものは3つの視点のいずれかが特に際立っていた、そしてより繊細な検討がされている建築を選定しています。また、特別賞(しずおかの木ぬくもり賞)となったしずおか焼津信用金庫羽鳥支店美和出張所は、地元のオクシズ材を使い、地元の製材業、大工の手によりつくられた地産地消の建築として評価しました。

4日間にわたる現地審査では、1作品40分という時間でしたが、建築空間を案内してもらいながら、対話する時間はとても充実した体験でした。この賞を応募して頂いた建築家の皆様や全ての関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

〔審査委員〕 勝又 宏幸

(静岡県くらし・環境部 建築住宅局 局長)

建築賞2025の審査にあたり、応募されました方々、そして審査等にご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。

私自身、職場では建築の専門職ということになっていますが、実際、このようなかたちで建築に接することは少なく、貴重な経験となりました。

それぞれの建物を詳細に見させていただき、設計者から話を伺うなかで、建築を設計するということの難しさを改めて感じたところです。

建築の設計は、基本的には建築主からの依頼によるものですが、設計者は建築主の要望だけでなく、実際にそれを使う方や管理する方の使い勝手を考え、周辺への影響や整合性、そして地域の発展についても考慮されています。

どこを優先し、どこで折り合いをつけるか、常に難しい判断を迫られます。また、法的な問題も解決しなければならず、それが既存の改修であれば、なおさらでしょう。

こうした与条件を乗り越え、設計者の考えがどこまで残り、どう表現できたか、そんなことを思いながら、審査にあたりました。

ある住宅の改修工事において設計者の言葉に「家から伝わるもの」が、ありました。多くの課題を抱えながらも、建物と真剣に向き合った結果、出てきたものと思います。

また、これだけはどうしても譲れなかったという熱い思いや、いろいろな制約から思い通りにならなかった無念さが伝わってくることもありました。

この賞は、建物に与えられるものではなく、設計者を表彰するものです。よって、私は、どのような建物ができたかという成果も大事ですが、どのように建物を創っていったかという過程はさらに重要と思っています。

そして、県内の設計事務所の設計者がより良い建物を目指し、それを讃える。静岡県建築士事務所協会にとって、本当に意義のある賞だと感じています。

受賞された皆様に心から御祝を申し上げますとともに、この賞が多くの設計者の励みとなり、設計業界の更なる発展につながることを期待いたします。

〔審査委員〕 鳥居 久保

(一般社団法人静岡県建築士事務所協会 2025年度副会長：地域交流委員会担当)

静岡県建築士事務所協会が独自で運営する「建築賞2025」は、「2021」、「2023」に次ぐ今回で3回目の実施となる。過去2回は建築家の保坂猛氏が審査委員長を務めており、今回は建築家の岩月美穂氏に委員長としての全権をお任せすることとした。

応募総数は21年が32作品、23年が31作品、そして今回は29作品となっている。

作品募集に関しては、カテゴリーを住宅部門、1000㎡未満部門、1000㎡以上部門、改修・増築部門の4つに分けて募った。

結果的には23年建築賞の時に14件あった住宅の応募が25年では3件に減り、1000㎡未満の一般建築では8件(23年)が15件(25年)に増加した。母数が少ないためこの結果だけでは即断できないが、住宅の減少と建築の小規模化は地方都市における建築界の時代の反映とも言える。

建築賞選定の目的は創設当初から一貫して、静岡県の気候風土に適合し地域性に呼応した建築作品を審査で見出すことによって、我々が暮らす静岡県の建築の現在像を改めて概観することにある。そうして時代の中で選ばれた優れた建築物の発掘は、それを担当した設計者とともに顕彰されることになる。

16作品を現地審査で見たが、機能面においては、大都市で見られるような高度な複合性や、新たな技術の開発を主題とするものは見当たらない。今回の「建築賞2025」の特徴として挙げられるのは、地方都市に建つ比較的小規模の建築として、機能を簡潔に整理しつつ、コンテクストを読み解き、木構造に代表される構造表現の顕在化と、新たなデザインを街並みに投入する試みにおいて優れたものが多かったと言える。そこには設計者それぞれの力量と固有の世界観が窺えた。

とくに今回の審査において印象的であったのは、若い設計者の存在が確認された事である。彼らは自らの言葉で作品の出自を語り、同時代の気分の中で独自の世界観を紡ぎ出す努力をしていた。その姿勢はこれからの建築の新たな展開を予感させるものであり、建築士事務所協会の「建築賞」の展開に大いなる期待を抱かせるものとなった。



構造計算適合性判定

電子申請 受付始めました

随時承ります

県内所在唯一の
判定機関

迅速

正確

親切

丁寧

特定非営利活動法人 静岡県建築技術安心支援センター

静岡市葵区追手町2-12 静岡安藤ハザマビル4階(静岡駅北口より徒歩5分)

TEL 054-275-0030 FAX 054-221-0565

URL: <http://www.skgass.jp/>

新年度挨拶

東部支部長 田代 陽介

会員の皆さまには、日頃より東部支部の活動にご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。令和8年度のスタートにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

近年、自然災害は激甚化・頻発化しており、南海トラフ巨大地震への備えも含め、地域の安全・安心を支える建築士事務所の役割はますます重要となっています。当支部では、災害発生後に迅速な対応が図れるよう、行政との災害協定の締結推進に引き続き取り組んでまいります。また、被災後に円滑な活動が行えるよう、会員の皆さまには協力者名簿への登録など、事前の備えにご協力をお願いいたします。

一方で、私たちを取り巻く環境は大きく変化しています。建設費の高騰や人材不足の影響で予定していた事業の見直しや中止などのリスクに加え、中東情勢による建築資材の不足や出荷停止など、非常に先行きが不透明な状況に直面しています。こうした時代だからこそ、地域に根ざした専門家集団として、会員相互の情報共有や研修機会の充実を図り、それぞれの事務所経営や技術力向上につながる支部活動を展開してまいります。また、若手技術者の育成や会員拡大にも取り組み、持続可能な業界の発展に貢献してまいります。

本年度も会員の皆さまとのつながりを大切にしながら、魅力ある支部運営に努めてまいりますので、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年度 東部支部組織図

※本会理事

立道浩幸
田代陽介
植野昌孝
三田義洋
野田博文

※本会監事

石井好治

支部長
田代陽介

監事
伊藤典男
石井好治

相談役
山梨一正

岡本芳幸 副支部長	総務・財務	委員長 岡本芳幸 副委員長 杉山真一
杉山真一 副支部長	教育・情報	委員長 河津正哉 副委員長 望月政司
森谷洋之 副支部長	業務	委員長 森谷洋之 副委員長 小泉直樹
岡本芳幸 副支部長	広報・渉外	委員長 眞鍋純一 副委員長 八木正憲
森谷洋之 副支部長	指導運営	委員長 日吉桂太 副委員長 友本和也
山梨正臣 副支部長	建築文化	委員長 山梨正臣 副委員長 山本信一
山梨正臣 副支部長	地域交流	委員長 乾 祐二 副委員長 青木孝仁
杉山真一 副支部長	技術	委員長 渡辺広幸 副委員長 高見澤勉
協力会		会長 脇山弘 副会長 菅沼篤

注1) 副支部長は複数の委員会を担当することができる

全体会議・懇親会

日時:令和8年5月20日(水) 場所:沼津リバーサイドホテル

令和8年度静岡県建築士事務所協会東部支部の全体会議が開催されました。会議では、令和7年度の事業・収支決算報告が行われ、無事に審議・承認されました。その後の懇親会には総勢62名が参加しました。新たに協会へ加入された事務所の紹介もあり、新年度のスタートにふさわしい活気ある会となりました。本年度も会員・協力会員の皆様と緊密に連携を図り、より有意義な活動に繋げてまいりたいと思います。



建設現場を言葉で照らす。

=D7 DAINANA

電気設備・空調設備・太陽光発電設備

株式会社ダイナナ

〒411-0816 静岡県三島市梅名 371-2

Tel. 055-977-3511 Fax. 055-977-7329

<http://www.dainana.co.jp>

新年度挨拶

中部支部長 佐藤 信行

新緑の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

このたび、静岡県建築士事務所協会 中部支部長を引き続き務めさせていただくこととなり、3年目を迎えることとなりました。引き続き、皆様と共に支部活動を進めてまいりたいと存じます。

昨年度は、関西万博の開催により関西の建築界が大いに盛り上がる一方で、私たち建築業界を取り巻く環境は、年々厳しさを増していることを強く感じる一年でもありました。

人手不足や技術者の高齢化はますます深刻化し、設計業務においてもBIMをはじめとしたデジタル化への対応、脱炭素社会への取り組み、法制度改正への対応など、求められる知識や業務範囲は大きく広がっています。加えて、資材価格や人件費の高騰により、事業全体の進め方そのものが大きく変化しつつあります。

また、静岡市の大型プロジェクトにおいてコンセッション方式による発注が進むなど、公共・民間を問わず、発注方式や事業スキームは複雑化・高度化しています。従来の経験や慣習だけでは対応が難しい場面も増え、設計事務所に求められる役割や責任も大きく変わり始めています。こうした時代だからこそ、会員同士が情報を共有し、悩みや課題を相談し合い、互いに支え合える場として、支部の存在意義はますます大きくなっていると感じています。

本年度は、これまで以上に会員の皆様の声を大切にしながら、支部活動の活性化に取り組んでまいります。「こんなことをしてほしい」「こういう情報が欲しい」といったご意見・ご要望がございましたら、ぜひお気軽にお声掛けください。

会員の皆様と共に学び、支え合いながら、この変化の大きな時代を乗り越えていければと思っております。今後とも変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年度 中部支部組織図

※本会理事

鳥居久保
佐藤信行
清水誠一
脇坂和洋
深澤博文
高橋辰弥
金丸智昭

佐藤信行
支部長

清水誠一
監事

高木一滋
監事

佐藤太一
副支部長

栗原 崇
副支部長

塚本章博
副支部長

栗原崇
副支部長

塚本章博
副支部長

地域交流

指導運営

教育・情報

建築文化

広報・渉外

業務

技術

視察研修委員会

委員長 坪井賢一
副委員長 市川紘巳
田原国博

委員長 大槻正広
副委員長 佐藤信行

委員長 齋藤宏之
副委員長 市川 諭

委員長 (兼副支部長) 近藤健太
副委員長 松浦康基
田島弘三

委員長 小川雅也
副委員長 永田章人
大瀬浩司

委員長 大瀬敬久
副委員長 原 芳洋
遠藤正人

委員長 北川 言
副委員長 西川大貴
針谷友己
海野清敬

委員長 宮岡直行
副委員長 佐塚重仁
坂田寛明

※総務拡大WGについては支部長・副支部長を中心として、役員相互にて積極的に行うものとする。

全体会議・懇親会

令和8年5月12日、春の全体会議を開催いたしました。

今年度は70名を超えるメンバーにご参加いただき、活気あふれる会となりました。会議では今年度の活動方針や昨年の事業報告が行われ、会員の皆様との連携をあらためて深める機会となりました。

会議終了後の懇親会では、中部建築技術会様のご協力によるくじ引きが行われ、会場は大いに盛り上がりしました。和やかな雰囲気の中で会員同士の親睦を図ることができ、充実した一日となりました。

ご参加いただいた皆様に心より感謝申し上げます。



Architect Design Association
株式会社 金丸建築設計事務所

代表取締役 金丸 智昭

〒421-0103 静岡市駿河区丸子1丁目3番4号

TEL: 054-256-6700 FAX: 054-256-6695

URL: <https://www.kanamaru.net/>



県営住宅安倍口団地B棟

新年度挨拶

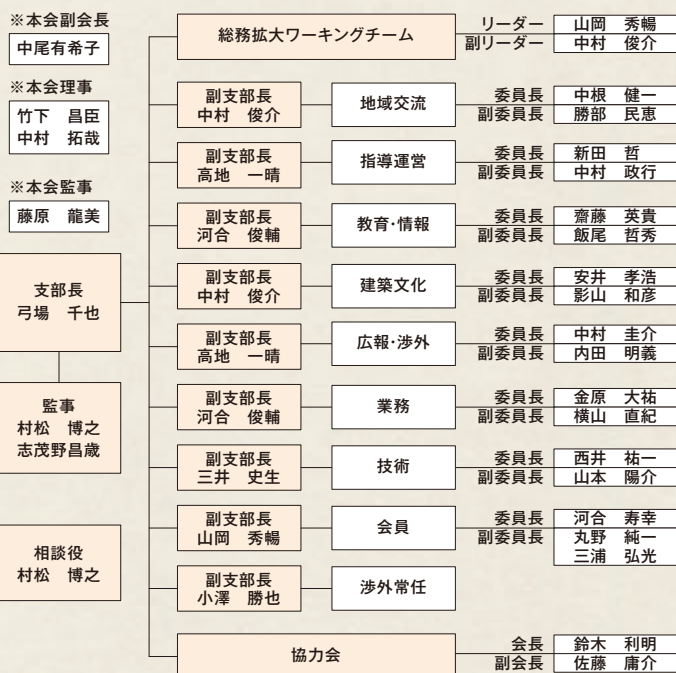
西部支部長 弓場 千也

この度、西部支部長を務めさせていただきますアーキプラン一級建築士事務所の弓場千也と申します。よろしくお願い致します。昨年度までの2年間は本会にて地域交流委員長を務めさせていただきました。理事会及び委員会の皆様には大変お世話になりました。この場をお借りして御礼申し上げます。さて、近年の建築士事務所の業務は改正された建築物省エネ法への対応をはじめ、建築DXの推進、2028年からは一定規模の建築物のライフサイクルカーボン算定が義務化される等、今後も業務量が一層増大することが予想されます。これまでも事務所協会では様々な講習会を開催し法改正やDXへの対応方法を学ぶ機会を会員の皆様に提供して頂いておりましたが、今年度の支部活動においても継続して業務に関わる最新情報をしっかりと皆様に展開し、キャッチアップ出来る様な機会をサポートして参りたいと思います。

支部の運営は副支部長6名、委員長8名、監事2名で運営して参ります。お陰様で、今後の活躍が期待される若手メンバーを含め新役員が6名選任されました。

新しいメンバーを迎え支部活動を一層盛り上げて参りたいと存じます。皆様のご理解とご協力の程よろしくお願いいたします。

令和8年度 西部支部組織図



注1) 副支部長は複数の委員会を担当することができる
注2) 総務拡大ワーキングチームは副支部長全員で構成する

全体会議・懇親会

令和8年5月15日(金)、令和8年度(一社)静岡県建築士事務所協会 西部支部全体会議、春の親睦会が開催されました。

全体会議は正会員31名、協力会16名の出席でした。

今年度からは支部長が中尾支部長から弓場新支部長に変更になり、中尾支部長からは最後のご挨拶を頂きました。

役員も改選があり新役員の紹介がありました。

新たな役員で今年後の事業を行って参ります。

親睦会は、正会員41名、協力会25名の出席でした。

協力会は5社の新入会員の紹介があり、年々参加者が増加して活性化されています。

歓談と、協力会の協賛による景品抽選アトラクションもあり、2時間がとても短く感じられました。



綿半ソリューションズ株式会社

静岡事務所 TEL 054-236-1281
静岡市駿河区下島114 蔵敷ビル2F
浜松事務所 TEL 053-431-1231
浜松市中央区西ヶ崎町563



HP

ONLY ONE WALL
-WS COLOR

伊東市、静岡市、袋井市との「災害に関する協定」を締結しました

(一社)静岡県建築士事務所協会は、令和8年3月11日に伊東市、3月25日に静岡市、5月27日に袋井市と「災害時における公共建築物の応急復旧工事の設計等業務に関する協定」を締結しました。

この協定は、災害時に公共建築物の被災度区分判定業務や復旧の要否判断、応急復旧計画の策定や応急復旧工事の設計業務などを行い、速やかな公共建築物の機能確保と復旧を図ることなどを目的としています。

この協定は、災害発生時に締結先の公共建築物の復旧に必要な調査・設計等業務を、「協力者」として登録された協会員事務所へ、随意契約することを主な内容とし、有償の委託業務として、建築物被災度区分判定、調査、修繕費用等の資産、災害査定資料の作成、応急復旧補修に伴う設計を行うことになります。

県内での広範囲な大規模災害に対応するためにも、多くの会員方々が協定の趣旨に賛同し、「協力者」として、各々の申し出による事前登録をすることが必要となります。

当協会としては、静岡県教育委員会、富士市、菊川市、掛川市、湖西市、御殿場市、西伊豆町、浜松市、富士宮市、沼津市に続き、11、12、13団体目の協定締結です。

静岡県内には35市町有り、日事連の要望活動等と共に、他の市町にも協定締結に向けた呼びかけ、協議を進めております。



伊東市



静岡市



袋井市

GLOBEで実現する建築設計・施工現場の生産性向上!!

現場のデジタル化徹底支援!

施工現場での活用 に特化した 施工専用BIM!

- 仮設計画
- 土工計画
- 躯体計画
- 工程計画
- 型枠・支保工計画
- 重機配置計画
- 点群アシスト

施工 BIM BIM施工支援システム【グローブ コンストラクション】

GLOBE Construction

日本の法規と作図スタイルに最適化された設計用BIM

- 建築基準法
- 確認申請
- プレゼン
- BIM-FM
- データ連携
- 点群アシスト

設計 BIM BIM建築設計支援システム【グローブ アーキテクト】

GLOBE Architect

デバイスを選ばない WEBブラウザ対応のビューワー

GLOBE WebViewer

BIMモデルがスマホで見えます

福井コンピュータアーキテクト株式会社
 本社／福井県坂井市丸岡町磯部福庄5-6
 【福井コンピュータグループ総合案内】 ☎ 0570-039-291

無料体験版 あります!

- 体験版DL
- 製品情報
- 導入事例
- イベント情報

お問合せはWEBでお気軽に!

GLOBE

<https://archi.fukui-compu.co.jp/>

時下、会員の皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、先日の定時総会をもちまして、鳥居新会長のもと、新たな体制がスタートいたしました。複雑化する建築業界の課題に対し、当協会も新たな視点で果敢に取り組んでまいります。本誌がデジタル広報誌(Web版)へとリニューアルされ4年が経ちましたが、スタート時に比べアクセス数も増えてきています。スマートフォンやタブレットから、いつでもどこでも手軽に最新の建築情報や協会の活動をご覧いただけます。今後も皆様の業務に役立つ魅力的なコンテンツを企画してまいりますので、ぜひ、お仕事の合間のスキマ時間にアクセスしていただき、より多くの皆様へデジタル広報誌の輪を広げていただくと幸いです。今後とも、当協会の活動とデジタル広報誌への変わらぬご愛読・ご支援をよろしくお願い申し上げます。

広報・渉外委員会(東部支部) 眞鍋純一

広報・渉外委員会

- 担当副会長 立道浩幸
- 委員長 脇坂和洋(中部)
- 副委員長 中村圭介(西部)

- 委員 眞鍋純一(東部)
- 委員 八木正憲(東部)
- 委員 塚本章博(中部)
- 委員 永田章人(中部)
- 委員 松下茂(西部)

湧く想い、沸かせる未来。

SHIZUGAS

静岡ガスグループ

申請業務をもっとスムーズに！ 申請から進捗確認まで WEB で完結

電子申請



24 時間 365 日
いつでも
申請可能

事務所から
申請完結で
移動時間ゼロ

インターネットで
進捗状況確認を
直ぐに確認

担当者間で
情報共有も
ラクラク

ご利用に
あたって

01 NICE WEB 申請システム への利用登録が必要です。

システムのご利用には、専用のログイン ID が必要です。ご利用申込み後、当センターにてお客様のログイン ID を発行いたします。
<システム利用料無料>

02 電子申請のお支払い方法は、 月締め支払(銀行振込)のみ。

現在、月締め支払の契約でないお客様はシステムご利用前に月締め支払の契約手続き(覚書締結など)が必要です。

一般財団法人 静岡県建築住宅まちづくりセンター

【お問い合わせ】企画・営業部 ☎ 054-202-5540 ✉ eigyou@shizuoka-kjm.or.jp

▼ 詳しくはこちら ▼

静岡 まちせん

検索

